

## 「地元地域のプロスポーツチームとのコラボ」を実施



自衛隊神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 新妻 陸尉）は11月3日（水）、サッカーチームのSCC相模原の試合会場である相模原ギオンスタジアムにおいて募集広報を実施した。当日は晴天に恵まれ約2000人のサポーターで埋まったスタジアムはSCC相模原のクラブカラー緑色一色に染まっていた。

相模原地域事務所の開設した広報ブースでは、偵察用バイク、小型トラック、装備品パネルを展示し、特に偵察用バイク展示では、小さなお子さんが「乗ってもいいですか？」と順番を待ち、親子連れが記念撮影を実施するなど好評であった。また、募集相談コーナーでは自衛隊に興味を持った学生等が多数訪れ熱心に説明を聞いていた。

スタジアム内では地本キャラクターの『はまちゃん』が登場し、『可愛い』『格好いい』

など多くの声が聞かれた。またスタジアム内のスクリーンでは、相模原地域事務所の作成した『相模原から自衛官を！』動画が放映された。

来場者からは「熱海の災害派遣は大変でしたね、お疲れさまでした。頑張ってください」など、自衛隊の活動に対する慰労の言葉が多く聞かれた。

相模原地域事務所は「今後も、感染症対策に留意しながら地域と密接に連携した様々なイベントに参加して、自衛隊の活動を積極的にアピールしていきたい」としている。



## 総合学習（若葉台中学校） 「職業講話」

自衛隊神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 大柿 3 陸尉）は11月4日（木）に横浜市立若葉台中学校で実施された『職業講話』に所長が講師として参加した。

講話は自衛隊の仕事内容、特に災害派遣をメインに講話し災害発生から派遣までの流れ、派遣先ではどんなことを行っているかなどをスライドを用いて説明し、その後、実際の災害派遣活動のDVDを視聴する形で実施した。

最後に質問コーナーを設けると、生徒から次々と質問があり「自衛隊で一番つらかったことは？」、「一番良かったことは？」など災害派遣に関すること以外の質問もあり、自衛隊の仕事に興味を持ってもらえた実感できた。

今後も横浜中央募集案内所は「学校と良好な関係を保ち、自衛隊の理解を深めていきたい」としている。



1 時間目（前段）



2 時間目（後段）